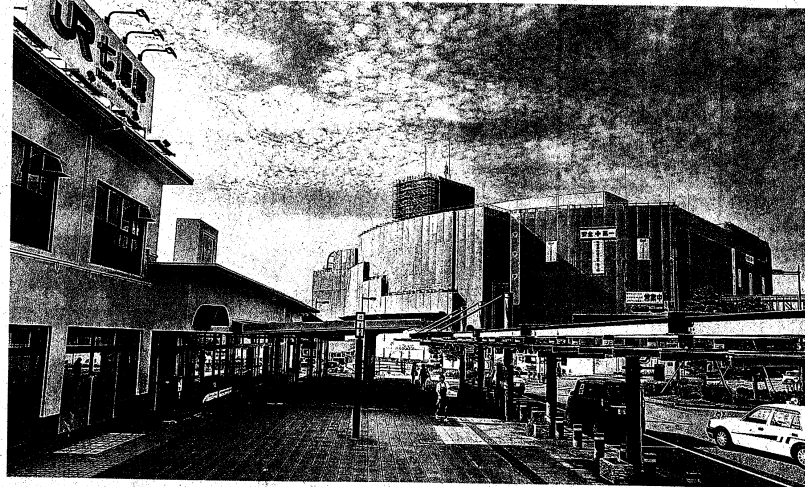


市取得でパトリア再建に期待

JR七尾駅前にある七尾市神明町の地価の下落率は4・8%で、前年の7・5%から下落幅が縮小した。前年は駅前の商業施設「パトリア」運営会社が経営破綻した影響で大幅に落ち込んだが、七尾市がパトリアを取得したことで再建の見通しが示され、期待感が生じた。ただし、人口減少に歯止めは掛からず、駅周辺の高齢化、空洞化は進み、下落基調は変わっていない。

空洞化、下落基調変わらず

七尾市が取得した商業施設「パトリア」。再建への期待感から周辺地価の下落幅は縮小した
—七尾駅前



神明町は再開発ビルや居酒屋チェーン店、営業所が立ち並び七尾の中心商業地域。パトリアが破綻した直後の前年調査では、石川県内で地価の下落率が最大だった。

神明町の地価は調査地点となった2008年の12万2千円を最高に、下落が続いている。今回の調査では5万9千円で、前年から3千円下落し、ピーク時の半額を下回った。

「パトリアがつぶれてから、買い物する人はめっきり減った。駅前で物販の商売はできん。成り立つのは飲食店や病院だが、コロナでどうなるか。20年間、神明町の町会長を務める西村邦夫さん(79)は気をもむ。七尾駅前がかつて、洋品

店や宝飾店などが立ち並び、能登一円から買い物客が訪れた。のと里山海道の無料化で金沢へのアクセスが向上し、七尾市郊外にも商業施設ができたことで、能登の中心地だった駅前の求心力は落ちている。

ドンキ出店で「下げ止まり」か

調査基準日の7月1日時点では、七尾市がパトリアの核テナントに地元スーパーとの出店交渉を行い、小規模な専門店の希望を募っていた。同日以降、スーパーとの交渉は中止となったが、ドン・キホーテを展開するパン・パシフィック・インターナショナルホールディングス(東京)が出店意向を表明し、市と調整を進めている。

石川県宅地建物取引業協会の新谷会長は「ドン・キホーテの出店が決まれば、能登一円からの集客が見込まれる。下落を止める要因になり得る」とみている。藤井忠則理事(能登プロジェクト)は「駅前はパトリア破綻から厳しい状況が続いていただけに(ドン・キホ

ーテへの)期待は大きい。横ばいになれば御の字だ」と話した。

スギHD 北陸

売上高、各利共

決算

(29日)

20年8月中旬期
ドラッグストア「スギ薬局」を展開するスギホールディングス(HD、愛知県大府市)の2020年8月中旬期の連結は増収増益で、売上高と営業、経常、最終の各利益が中間期として過去最高となった。新型コロナウイルスによる巣(もり)需要で、食料品や生活用品の売り上げが伸びた。今期は8

石川県が11年をかけて開発した酒米「百万石乃白」で造った日本酒—金沢市内のホテル



石川県が11年をかけて開発した酒米「百万石乃白」で醸造した日本酒のお披露目が29日、金沢のハイアットセントリック金沢で開かれた。県内の18酒蔵から百万石白を使った純米大吟醸や特別純米が寄せられ、酒米生産者や酒販店

七尾 下落幅が縮小

北陸経済調査

北陸経済調査

た。

清人 議

5月 北陸

スギHD連結

円